



生活様式が大きく変わったJAや組合員の皆さまに贈る日本農業新聞の読みどころ集です。「この1週間を振り返る」ため週刊でお届けします。



## 21年産米

# 概算金2、3割下げ中心

## 業務用銘柄ほど減額

J A全農本部や経済連がJ Aに提示する2021年産米の概算金<sup>※</sup>は、買い取り価格が10日、主要産地で出そろった。前年産から2、3割(2,000~3,000円)下げが中心。業務用途の銘柄は下落幅が大きい。20年産在庫が多く余剰感が強いので、今後の販売環境が見通じていないを踏まえ、慎重に設定する産地が相次いだ。需給状況や販売環境が改善すれば、追加払いを検討する産地もある。▼3面に関連記事

2021年産米の概算金・買い取り価格例(1等60%)

産地	銘柄	概算金・買い取り価格(円)	前年比(円)
北海道	ななつぼし	11,000	▲2,200
青森	まっしぐら	8,000	▲3,400
岩手	ひとめぼれ	10,000	▲2,300
宮城	ひとめぼれ	9,500	▲3,100
秋田	あきたこまち	10,600	▲2,000
山形	はえぬき	10,000	▲2,200
福島	中浜通り・コシヒカリ	9,500	▲2,600
栃木	コシヒカリ	9,000	▲3,400
新潟	一般・コシヒカリ	12,200	▲1,800
富山	コシヒカリ	11,000	▲2,000
福井	コシヒカリ	10,500	▲2,700
滋賀	コシヒカリ	11,500	▲2,100
鳥根	コシヒカリ	10,600	▲2,000
高知	コシヒカリ	10,300	▲1,300

※全農・経済連が県内JAに提示したJA概算金の当初価格。青森はJAが生産者に支払う概算金の目安額、福井はJA福井県、鳥根はJAしなね、高知はJA高知県の金額。Aはマイナス

JA全農本部がJAに提示する2021年産米の概算金が出そろいました。前年産から2、3割(2,000~3,000円)下げる産地が多く、特に業務用途の銘柄は下落幅が大きいです。20年産米の在庫が多く余剰感が強く、販売環境も見通しにくいいため、慎重に設定する産地が相次いでいます。需給状況や販売環境が改善すれば、追加払いを検討する産地も。1等60<sup>※</sup>当たり宮城「ひとめぼれ」、

福島・中浜通り「コシヒカリ」で3,000円前後、青森「まっしぐら」は3,400円下げました。(9/11付1面)

0円下げ、全農A<sup>※</sup>は、新型コロナ禍などで需給が減っており

今週の記念日  
★9月21日  
「月見酒の日」  
1637年創業の京都府京都市伏見の老舗日本酒メーカー・月桂冠が制定。まろやかな味わいと、すっきりとしたあと味が特徴のお酒「つき」を、より多くの人に味わってもらおうのが目的。日付は銘柄名から月が一年で最も美しく、風流な「月見酒」を楽しむのにふさわしい「中秋の名月」の日としました。

<日本記念日協会から>

## 全中 子ども食堂に米140ト コロナ禍、国の事業活用

J A全中は、国の事業を活用して全国の子ども食堂などに精米約140トを贈りました。新型コロナの影響で米の需要が減る中、消費拡大を進めながら子どもへの支援に協力する狙い。受け取った団体は利用者への食料配布などで活用している。厳しい経済状況で米を必要とする人は多く、支援に歓迎の声が上がる。

### 需要増へ全国760カ所

利用したのは、農水省の「国産農林水産物等販路多様化緊急対策事業」。コロナ禍で販売量の落ち込みなどの影響を受けた農産物を子ども食堂に提供する場への支援策を使い、食料の調達費や輸送費の実費相当額の補助を受けた。同法人はコロナ禍を受け、20年3月から1回のフードパントリーに取り組み。予算減などから1年で終了予定だったが、厳しい経済状況が続く利用者から「米だけではないので欲しい」との要望

があり、継続を決めた。同法人によると、主食の米は支援への需要が多い。今回受け取った人からも「子どもが食べ盛りなので米は助かる」との声があったという。全中は、都道府県中央会にも今回の手法を参考に事業を活用する

JA全中は農水省の緊急対策事業を活用し、全国の子ども食堂支援団体や自治体など約760カ所に、精米約140トを贈りました。盛岡市のNPO法人は1世帯当たり3合、3人以上の世帯には7合を、計114世帯に配りました。(9/14付5面)

問87 次の3つのうち、「陸奥」はどれとどれ？



1 ①と② 2 ①と③ 3 ②と③

問95 画像は「きおう」「玉林」「シナノゴールド」です。「玉林」はどれ？  
ヒント：果点の大きさと果皮の状態（質感）



1 ① 2 ② 3 ③

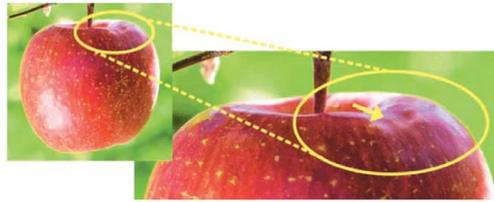
青森県りんご対策協議会が「青森りんご検定」を始め、8月からホームページで公開しています。延べ1万人超が受験するほど人気。基礎編(50問)と超上級編(100問)があり、基礎編は8割以上、超上級編は全問正解が合格ライン。日本一の青森ならではの難問もあります。(9/15付15面)

## 農家も苦戦!? 青森りんご検定

収穫シーズンの到来に合わせ、一般社団法人の青森県りんご対策協議会が「青森りんご検定」を始め、8月からホームページで公開している。農家が苦戦するほどの超難問もあり、既に全国から延べ1万人超が受験。担当者は「りんごの知識を深めてもらい、新型コロナウィルス下でも盛り上げがきつかけになれば、期待を込める。りんごの歴史や栽培について問う基礎編(50問)と超上級編(100問)の2種類。生産量日本一の青森ならではの当地問題も。基礎編は8割以上、超上級編は全問正解すれば合格で、合格率(13日時点)はそれぞれわずか30・6%と

「青森りんご検定」の問題例(青森県りんご対策協議会ホームページから)

問55. サンふじなどにたまにみられるりんごの表面のぼこぼこ。こうした特徴を持つりんごのことを青森県のりんご農家さんは何りんごと呼ぶでしょう？



### 超上級編は合格率1.7%

1・7%にとどまる。輪切りにした3品種の写真を示し、選択肢から「こうかく」という品種を当てさせると超難問もあり、インターネット交流サイト(SNS)には「基礎編でも難しい」といった感想が寄せられている。抽選で合格者40人に同県産りんごなどを贈るキャンペーンを今月末まで実施している。

青森・JA十和田おいらせは、今春採用した職員や子会社職員向けに、ブランド野菜「TOM-VEGE(トム・ベジ)」勉強会を開きました。産直施設「かだあ〜れ」の来客に商品力の高さを披露します。(9/11付10面)



「TOM-VEGE」野菜の試食をする新人職員(青森県十和田市で)

### 青森・JA十和田おいらせ

青森県のJA十和田おいらせは3日、今春採用した新人職員、子会社の新職員を対象に、ブランド野菜「TOM-VEGE(トム・ベジ)」の勉強会を開いた。新人職員は11、12の両日にJAの産直施設「かだあ〜れ」で開く「トム・ベジ」で、来場者にブランド野菜をPRし、学びの成果を披露する。

## ブランド野菜 TOM-VEGE 自ら食べPR

### 新人勉強会 土壌にこだわり

勉強会では「トム・ベジ」野菜に長年携わってきた土壌専務が、ブランド野菜確立までの経緯や土づくりの重要性、野菜の効能について説明した。この取り組みは土壌診断を必ず行い、土の栄養バランスを整え、健康な畑で生産。作物本来の甘味、うま味が引き出され、野菜嫌いな子どもにもおいしく食べられるのが特徴だ。土壌診断については、土壌専務は「土のバランスを整えることは良品を生産、安定多収につながるだけではない。自信を持って消費者にお届けできる生産プロセスの証明になる」と話した。勉強会終了後は、「トム・ベジ」と市販のナガイモやトマト、ピーマンなどの食べ比べをして、「トム・ベジ」野菜の甘味や、えび味の少なさを確認した。農業総合支援室の沢尻未来さん(22)は「食べ比べるとえび味の少なさがよく分かる。ピーマン嫌いの私でもおいしく食べられた。多くの人にブランド野菜を知ってもらい消費拡大につなげたい」と張り切る。(青森 十和田おいらせ)

### 直売所野菜 新聞店が宅配

折り込み広告で注文  
JA静岡市は、同市の宅配業者ヨキネや海野新聞店と連携、新聞店の宅配網を生かし、直売所の新鮮野菜を宅配で販売しています。新型コロナ禍で外出や買い物に苦勞する高齢者を中心に利用。一人暮らしの安否確認にもなっています。(9/11付5面)



JA静岡市

同JAフアーマーズマーケット南部じまん市が、期出荷された野菜を詰め合わせる。野菜セットは「農産さんイチ押し旬の野菜セット」と名付けた。B・10種類入るAセット(1500円)と、C・2・3種類多いBセット(1800円)がある。2020年8月から販売し、今年9月からすでに約210件を販売した。購入者が「新鮮でおいしい野菜が届く、便利で助かっている」と好評だ。ヨキネは東日本大震災の復興支援で、宮城県の商品の販売に協力するため宅配を始め

JA静岡市は、同市の宅配業者ヨキネや海野新聞店と連携、新聞店の宅配網を生かし、直売所の新鮮野菜を宅配で販売しています。新型コロナ禍で外出や買い物に苦勞する高齢者を中心に利用。一人暮らしの安否確認にもなっています。(9/11付5面)

### 日本農業新聞 東北支所(編集担当記者) 高内 杏奈

家でガリガリ君を食べながら「何か夏らしいことをしたい」と思っていました。どこからともなく香るキンモクセイに、迫る秋を感じました。あっという間に9月。祖母に話すと線香花火を出しながら「おらいの1年はF1(モータースポーツ)くらいの速さだは」と言い、レーシングカーを操る祖母を想像してしまいました。私はまだ電動自転車くらい。残りの2021年を大切に過ごしたいものです。

